

当振興公社県内企業アンケートによる県内経済

全産業

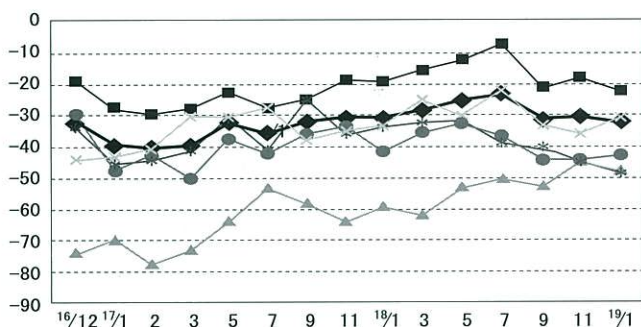
前年同月比については、業況D I値は-33.1となり前回調査に比べ2.3ポイントのマイナス(図1)、生産・販売高(完成工事高)D I値は-23.4で11.6ポイントのマイナスとなり、ともに下降傾向となった(表1)。業種別の生産・販売高(完成工事高)D I値では、小売業で若干の上昇傾向を示したものの、他業種は下降傾向となっており、中でも建設業の設備工事や種別工事、サービス業の物品賃貸や自動車整備等で下降傾向の割合が大きくなっている。

3ヶ月先見通しについては、業況D I値が-18.6で前回に比べ16.8ポイントのプラス、生産・販売高(完成工事高)D I値は2.9で34.5ポイントの大幅なプラスの見通しとなっている(表2)。業況及び生産・販売高(完成工事高)ともに上昇傾向を示し明るい見通しとなっている。

営業利益率は、前年同月比で-39.9と前回に比べて3.0ポイントのマイナス、3ヶ月先見通しでは-24.5と15.9ポイントのプラスとなっており、資金繰りについては前年同月比-25.5で3.3ポイントのマイナス、3ヶ月先見通しでは-24.6で7.5ポイントのプラスとなっている。

〈業況D I値の推移(前年同月比)〉

〔図1〕



県内経済の動き1月現在
現状でやや落ち込むも、
3ヶ月先見通しに
期待感あり

〔表1〕

全産業の主要項目 (前年同月比)				
	業況	生産・販売高	営業利益	資金繰
今回(1月)	-33.1	-23.4	-39.9	-25.5
前回(11月)	-30.8	-11.8	-36.9	-22.2
前回比	-2.3	-11.6	-3.0	-3.3

〔表2〕

全産業の主要項目 (3ヶ月先見通し)				
	業況	生産・販売高	営業利益	資金繰
今回(1月)	-18.6	2.9	-24.5	-24.6
前回(11月)	-35.4	-31.6	-40.4	-32.1
前回比	16.8	34.5	15.9	7.5

製造業

製造業全体の前年同月比では、業況D I値は-21.8で前回に比べ4.2ポイントのマイナス、生産・販売高D I値は-11.9で前回に比べ9.8ポイントのマイナスといずれも下降傾向となっている。しかし、3ヶ月先の見通しでは、業況D I値は-3.2で20.7ポイントのプラス、生産・販売高D I値は-17.2で45.4ポイントのプラスとともに上昇傾向となっている。

業種別の業況では、前年同月比で上昇が6業種、下降が9業種となっているが、3ヶ月先見通しでは上昇見通しが13業種となっている。生産高では、前年同月比で繊維製品や家具・家具用品、窯業・土石で下降幅が大きい、3ヶ月先見通しでは鉄鋼と非鉄金属を除く業種で明るい見通しとなっている。

業況(前年同月比)

〔表3〕

	食料品	織物	繊維	木材製	家具・家具用品	紙製品	出版印刷	化学石油	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属製品	一般機械	電気機械	輸送機械	精密機械
今回(1月)	-11.9	-50.0	-16.7	-16.7	-25.0	-57.1	-33.3	-33.3	-37.5	-25.0	40.0	7.1	-28.6	-36.0	-30.0	20.0
前回(11月)	-25.0	-71.4	60.0	-37.5	-25.0	-66.7	-22.2	-66.7	-26.7	0.0	16.7	25.0	-17.6	-24.1	-22.2	25.0
前回比	13.1	21.4	▲76.7	20.8	0.0	9.6	▲11.1	33.4	▲10.8	▲25.0	23.3	▲17.9	▲11.0	▲11.9	▲7.8	▲5.0

生産高(前年同月比)

〔表4〕

	食料品	織物	繊維	木材製	家具・家具用品	紙製品	出版印刷	化学石油	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属製品	一般機械	電気機械	輸送機械	精密機械
今回(1月)	-7.1	-50.0	-33.3	0.0	-25.0	-28.6	-50.0	0.0	-43.8	25.0	60.0	7.1	-4.8	-24.0	-20.0	40.0
前回(11月)	4.5	-42.9	60.0	-12.5	25.0	-66.7	-44.4	0.0	0.0	33.3	33.3	37.5	-23.5	-24.1	-22.2	50.0
前回比	▲11.6	▲7.1	▲93.3	12.5	▲50.0	38.1	▲5.6	0.0	▲43.8	▲8.3	26.7	▲30.4	18.7	0.1	2.2	▲10.0

(注) 各業種の数値はD I値にて表示している。D Iは「好転」、「変わらず」、「悪化」の問いに対し、「好転」と答えた%から「悪化」と答えた%を引いた値。

サービス業

前年同月の業況DI値は-42.5で前回に比べ2.2ポイントのプラスとなったが、売上高DI値は-35.2で18.3ポイントのマイナスとなっている。3ヶ月先見通しについては、業況DI値は-27.8で2.3ポイントのマイナスの見通しとなったが、売上高DI値は-7.4で20.2ポイントのプラスの見通しとなっている。その他問題点としては、卸売業と同様の他、暖冬の影響と原油価格の影響もあると答えた企業もあった。

〔表 8〕

	業況 前年同月比	売上高 前年同月比	業況 3ヶ月先	売上高 3ヶ月先
9月	-45.2	-34.0	-30.1	-7.5
11月	-44.7	-16.9	-25.5	-27.6
1月	-42.5	-35.2	-27.8	-7.4

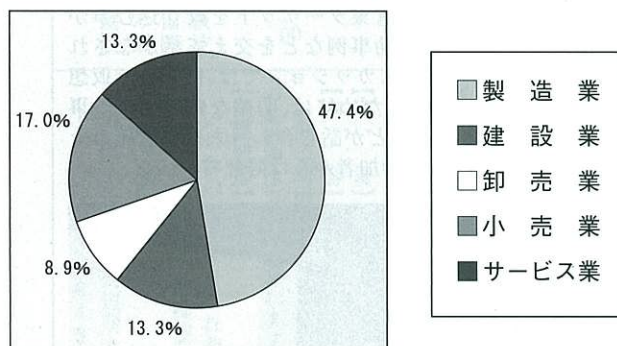
公社取引営業支援部門から見た県内企業の動向

建設機械や光学機器、自動車部品関連などでは、依然多忙とする企業が多く見られるが、そのほかの機械加工関連の企業などでは、昨年暮れから「受注がやや落ちている」とするところも見られる。また原材料費の値上がりが続く中、受注コストに転嫁できず、苦慮している企業も見られる。

調査の概要 平成19年1月時点調査(郵送法)

調査対象 県内39業種 1,000社
有効回答企業 405社 (回答率40.5%)
業種内訳 製造業 192社 建設業 54社 卸売業 36社
小売業 69社 サービス業 54社

〔図 2〕



建設業

前年同月の業況DI値は-46.3で前回に比べ1.4ポイントのマイナス、完工高DI値も-53.8で25.2ポイントのマイナスとなっている。3ヶ月先見通しについては、業況DI値は-55.6で15.8ポイントのプラス、完工高DI値は-31.4で11.5ポイントのプラスの見通しとなっている。その他問題点として、公共工事減少による競争激化及び受注価格の低廉と答えた企業が依然高い割合を占めており、中には暖冬による影響もあると答えた企業もあった。

〔表 5〕

	業況 前年同月比	完工高 前年同月比	業況 3ヶ月先	完工高 3ヶ月先
9月	-52.9	-27.4	-62.7	-25.5
11月	-44.9	-28.6	-71.4	-42.9
1月	-46.3	-53.8	-55.6	-31.4

卸売業

前年同月の業況DI値は-30.6で前回に比べ6.6ポイントのプラスとなったが、売上高DI値は-19.5で12.5ポイントのマイナスとなっている。3ヶ月先見通しについては、業況DI値は-11.1で23.8ポイントのプラス、売上高DI値は11.1で43.6ポイントのプラスとそれぞれ上昇傾向の見通しとなっている。その他問題点として、売上の伸び悩みの他、競争の激化、販売価格の低廉が高い割合を占めている。

〔表 6〕

	業況 前年同月比	売上高 前年同月比	業況 3ヶ月先	売上高 3ヶ月先
9月	-35.0	-10.0	-20.0	-7.5
11月	-37.2	-7.0	-34.9	-32.5
1月	-30.6	-19.5	-11.1	11.1

小売業

前年同月の業況DI値は-47.9で前回に比べ4.3ポイントのマイナスとなったが、売上高DI値は-24.6で0.7ポイントの若干のプラスとなっている。3ヶ月先の見通しについては、業況DI値は-29.0で18.9ポイントのプラス、売上高DI値は-5.8で29.5ポイントのプラスとそれぞれ上昇傾向の見通しとなっている。その他問題点としては、卸売業と同様の他、商店街の空洞化や暖冬の影響もあると答えた企業もあった。

〔表 7〕

	業況 前年同月比	売上高 前年同月比	業況 3ヶ月先	売上高 3ヶ月先
9月	-40.3	-23.7	-45.8	-9.8
11月	-43.6	-25.3	-47.9	-35.3
1月	-47.9	-24.6	-29.0	-5.8